

目標：公正・平等・安心のまちづくり

方法：公開・参画・協働の手法

実現：健全な財政運営と公平な行政サービスで、住みやすさアップ

### ①分権と財政の健全化

安易な土地を先行取得により土地開発公社の借金は約 77 億円(平成 19 年度末)。この「隠れ借金」が市財政を圧迫しています。

徹底した情報の公開・共有と市民参加により市民が主人公の地方分権を進め、財政の健全化をはかります。

☆公社所有地の売却を促進します。

☆公平な課税と収納率を向上し、所得の再配分機能を高めます。

☆市民協働を推進し、市民の意思が反映される市政を実現します。

### ②地域医療・介護の改善

医師不足で地域医療体制は危機的状況です。公的責任で、医療機関の経営改善などを進め、安心できる医療・介護の体制を整備します。

☆特定検診は全市民を対象に、全項目検査を実施します。

☆高齢者の医療・介護負担を軽減します。

☆阿伎留医療センターを充実させます。

### ③住みやすいまちづくり

公共施設や公共交通を充実するとともに、災害や犯罪などに対して安全で安心できるまちづくりを進めます。

☆るのバス台数を増やし、高齢者の交通手段を充実します。

☆武蔵引田駅の線路とホームを増設します。

☆旧秋川高校跡地の利用は、広く市民の声をきき、地域経済の活性化と快適な住環境を創出します。

#### ④教育・文化行政の充実

子どもの健やかな成長のため音楽・芸術・スポーツにふれあえる環境整備とともに、生きがいと心の豊さが実感できる生涯学習を充実します。

☆校舎・体育館の早期耐震化を進めます。

☆学校プールに温水シャワー、教室に扇風機の設置など教育施設を改善します。

☆地区会館（千代里会館など）に洋式トイレ、エレベーターを設置します。

☆五日市ファインプラザ、いきいきセンターのサービスを維持します。

#### ⑤子育て支援を一層充実

少子化に歯止めをかけるためにも、公的責任で子育て支援を一層充実する必要があります。

☆学童クラブの育成時間の延長。（夏休みなど休校日の朝夕 30 延長など）

☆待機児童解消のため、保育園、学童クラブの定員を増やします。

☆老朽化した保育園の改修、建替えを促進します。

#### ⑥次世代に自然を残そう

21 世紀は「環境の世紀」です。温暖化、気候変動に対して「低炭素社会」の実現に取り組むことが重要です。

☆公用車のハイブリット化を推進します。

☆地元材を活用し、森林の育成を図ります。

☆私有林を環境教育などに活用するとともに、「みなと区民の森」への協力を通じて自治体間、市民間の交流を深めます。